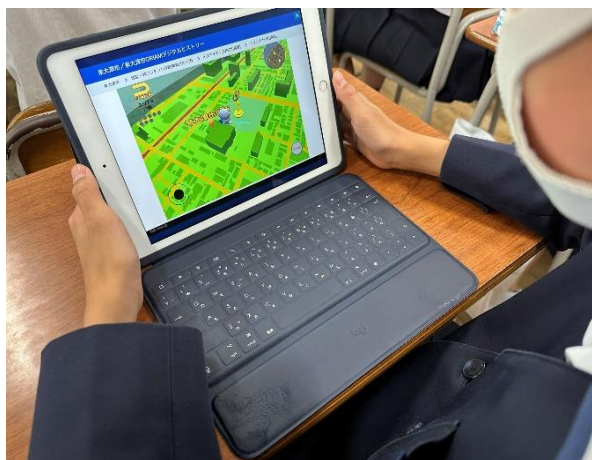


めあて

おづみんと泉大津をめぐって、歴史のサインを見つけよう！

学習活動	指導と留意点
○堺市の歴史のサインに気付く。 ○学芸員の話より、博物館の役割に気付 き、身近な博物館への興味をもつ。	・教科書62～65ページ ・弥生博物館の紹介を行う。
泉大津市 ORIAM デジタルヒストリーより、アプリ“イズミオオツ GOGO!!まちぐるみミ ュージウム”を使用して、歴史のサインを見つけよう！	
○「虫取・板原」地区を選択して、歴史のサ インに気付く。 ○「式内町」の名前の由来、古代に船で行 き来した運河の跡、弘法大使（空海）を 祀るお堂、の 3 点について調べる。 ○等尺年表・西暦・世紀の用語を知る。 ○ふりかえり	・校歌の由来となった“諸瀬池”は必ずワー クシートにまとめる。 ・歴史のサインの写真を集めてからワーク シートに取り組む。 ・教科書66・67ページ

児童の様子



使用したアプリ



児童のふりかえり

- 諸瀬池が、大きな池だったけど、楠小学校と幼稚園ができたせいで小さくなったことがわかった。
- 校歌の「もろせの庭の～」の意味が初めて分かりました。虫取・板原だけでなく、もっと市内のいろいろな地域のことを調べてみたいです。
- 泉大津にはあまり歴史はないと思っていたけれど、泉大津には歴史を持った建物などがたくさん残っていることが分かった。

授業者のふりかえり

市内にある神社やロシア兵の墓地については、知っていたが、実際に校区や隣接地域にこんなたくさんの歴史遺構があることを私自身も知ることができた。また、アプリ内でそれぞれが興味をもつ場所を調べることができたことも大変良かった。

参考史料

○泉大津市 ORIAM digital history

<https://www.city.izumiotso.lg.jp/kakuka/kyoikuiinkai/shogaigakushu/bun>

kazai/9898.html 『イズミオオツ GOGO!!まちぐるみミュージアム』

○日本文教出版 『小学社会6』 62～67ページ